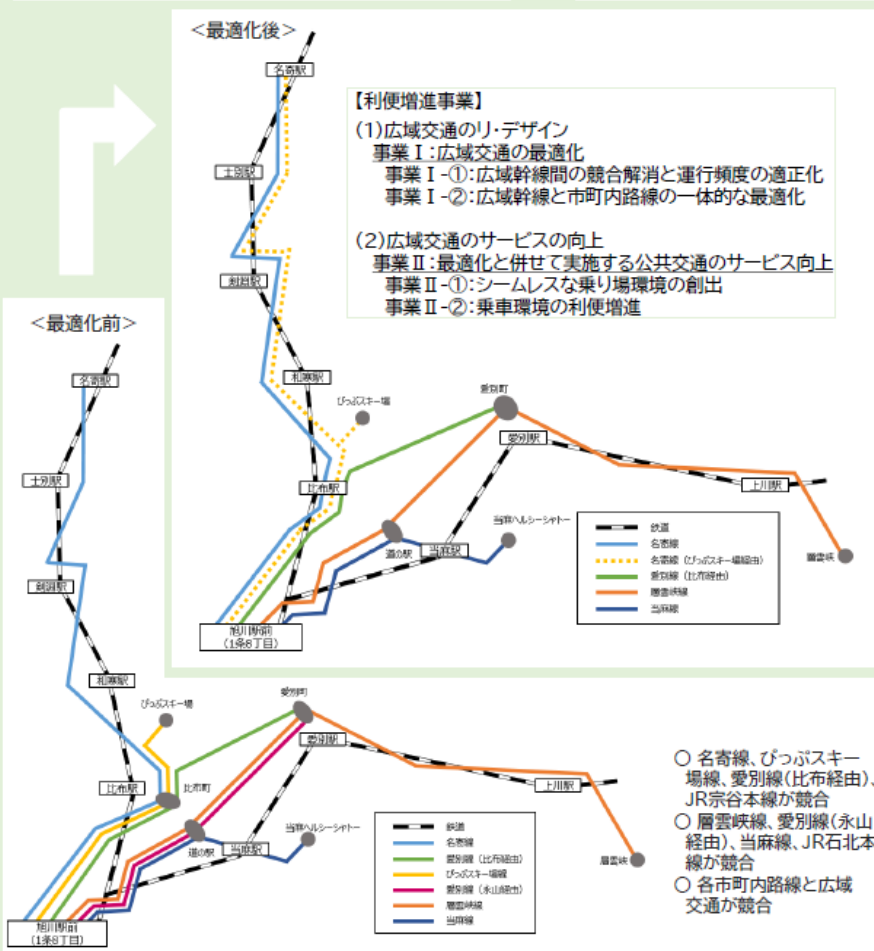


- ・北海道上川地域の旭川市～名寄市エリアと旭川市～上川町エリアでは、一部区間において広域バス路線間での競合がみられるとともに、バスと鉄道も競合していることから、本計画による最適化を図ることで、二重に必要となっていた車両や人材、管理費用などの削減を図るほか、運行ダイヤや経路の調整とともに交通結節点を設けることにより、運行効率化と利便性の向上を目指します。
- ・広域路線の最適化に加えて、各市町内のコミュニティ交通とも連携を図りながら、持続可能な形での広域的な公共交通ネットワークの確保を目指します。

最適化の方向性：最適化により持続可能な形での広域的な公共交通ネットワークの確保を図ります

- バスと鉄道、バスとバスがそれぞれ競合している
 - 名寄線は比布駅を経由しない
 - バスと鉄道間の乗り継ぎサービスはない など
- 競合路線の解消
 - 交通結節化による利便性の向上
 - サービス向上策の実施



事業の内容

事業Ⅰ 広域交通の最適化

- 事業Ⅰ－① 広域幹線間の競合解消と運行頻度の適正化
 - ・各系統の運行頻度・ダイヤを調整
 - ・名寄線の一部をびっバススキー場経由化
- 事業Ⅰ－② 広域幹線と市町内路線の一体的な最適化
 - ・比布町内の無料定期バスの運行を再編し、名寄線（びっバススキー場経由）への利用に集約
 - ・層雲峡線及び当麻線と旭川市内の競合系統のダイヤを調整

事業Ⅱ 最適化と併せて実施する公共交通のサービス向上

- 事業Ⅱ－① シームレスな乗り場環境の創出
 - ・名寄線、愛別線を比布駅経由化
 - ・当麻線、層雲峡線の経路変更（旭川駅前）
- 事業Ⅱ－② 乗車環境の利便増進
 - ・タッチ決済の利活用促進やW i - F i 設備の導入

事業の効果

事業Ⅰ 広域交通の最適化

- ・運行効率性の向上による公共交通のサービスの確保

事業Ⅱ 最適化と併せて実施する公共交通のサービス向上

- ・アクセス性の向上、車内環境の充実、速達性の向上

作成自治体 北海道、旭川市～名寄市・上川町方面の市町
事業実施区域 旭川市～名寄市エリア（旭川市、士別市、名寄市、比布町、和寒町、剣淵町）
旭川市～上川町エリア（旭川市、当麻町、比布町、愛別町、上川町）
事業実施予定期間 令和6年10月～令和10年3月